

2010年秋の課題作文優秀作品

テーマ「待ち時間」

【小学部】

O・Nくん（川和東小）

待ち時間は必要だと思います。くみさんが言うように、一つ一つ丁寧に、時間をかけて覚えれば、忘れることはないだろうし、それだけの満足感があるからです。僕はくみさんと同じで、自分が出来なかったことが何度も何度も時間をかけて練習することで出来るようになった時は、すごくうれしいです。このように自分が少しでも苦労すれば、必ず良いことが待っているということが分かりました。

また、歴史でもこのように待った結果、優秀な成績を出した武将がいます。江戸幕府、初代將軍徳川家康です。家康は、小さい頃から人質としてあつかわれていました。大人になってからも、豊臣秀吉に自分の領地を移されるなど、大変なことがたくさんありました。しかし、関が原の戦いに勝ち、ついに將軍になり、全国を治めることに成功しました。このことから、待てば誰でもチャンスがあるということが分かりました。世の中には、素早くやる必要があるときもあるけれど、待ち時間も大切だということが分かりました。

最後に一句

鳴かぬなら鳴くまで待とうホトトギス

M・Yさん（茅ヶ崎東小）

私は「待ち時間」はない方が良いと思います。

待ち時間はできるだけ省いて、効率よく物事を進めるほうが良いと思います。一つ一つ調べるのは面倒な作業だし、時間がかかるし、疲れます。そのせいで、やらなくてはならない事がたくさんある時などは、半分もできずに時間だけが

過ぎていつてしまします。必要なことを一瞬にして出せる計算機やパソコン、電子辞書などはとても便利だと思います。

ただ、良くないこともあります。例えば、難しい計算があるとき、計算機で計算したら正確な答えは出るけれど、答えを導き出すための途中の式がわかりません。計算を解く時、筆算や法則などを使い、自分が努力して答えを導き出すことをしなければ、計算力は身につかないと思います。他にも、漢字辞典で「おさめる」という漢字を調べると、たくさんの漢字が出てきますが、自分の求めている文字がどれなのか分からないということがあります。この時、一つ一つの意味を調べることで、どの場面で使う文字なのかを理解することができます。他の情報を調べて手に入れることで、身につくこともたくさんあります。事実、漢字テストの勉強は何度も書いて、苦労して覚えることで身につきます。

これらのことを待ち時間とするのであれば、必要なことだとは思いますが、効率よく物事を進めるためには、最終的には時間を短縮することが大切だと思います。

K・Tくん（都筑小）

ぼくは、待ち時間はあった方がよいと思います。理由は、待ち時間があれば、欲しいものなどがある時にじっくりと考えて買うことができるし、達成したい目標などがある時は待った時間の分だけそれを成し遂げた達成感も大きいからです。

確かに、文中のケン君が言うように、インターネットを使えばすぐに欲しい物を買えます。電子辞書で分からない漢字はすぐに調べられます。でも、本当にそれで良いのでしょうか。この二つの長所と短所を時間のかかるやり方と比べてみましょう。

まず、インターネット。これは、ほとんどの人が利用しています。その分情報量も多く、自分の目的である情報をすぐに見つけることができ、通販を利用して何でも買うことができます。それと比べて辞書や本で分からないことを調

べるのはどうでしょう。情報量には限りがあり、見つけるのは時間がかかり、一見不便なように見えますが、実は大変便利だと思えます。インターネットのように間違った情報や、要らない情報まで無数に引つかかることはないでしょう。通販についても同じです。

次に電子辞書。難しい漢字も簡単に探せます。しかし、辞書のようにまとめて似た漢字を出すことはできないでしょう。他の漢字と比べることで本当にそれが正しい字なのか確かめることができます。何より、自分の力で調べた字は忘れにくく、信用性があります。

このように、何でも時間のかからない方法ばかり使うのではなく、最も正確な方法で調べたりすることで、自分自身にも知識が身につくので、僕は待ち時間はあった方がいいと思います。

S・Aさん（中川西小）

私は待ち時間があった方がいいと思います。

なぜなら私は遊園地が大好きで、まだ一度も行ったことのない富士急ハイランドのぜつきようマシンに乗るのが楽しみだからです。

でも、まだ今の私の身長では全部は乗れません。私の今の身長は125センチメートルで、ほとんどのぜつきようマシンは130センチメートルからしか乗れないから、あと5センチメートル身長が伸びないと乗れないからです。

私の身長が1センチメートル伸びるのにだいたい二ヶ月くらいかかるとしたら、あと十ヶ月かかります。だから、来年の夏ごろまでには130センチメートルになっていてと思います。来年の夏までは、まだまだ時間がかかるけど早く背が伸びるようにあまり好きじゃない牛乳をたくさん飲んでいきます。

待っているときは長くていやだと思うけど、ジェットコースターに乗れたときはすごく嬉しいと思うので待っている時間も楽しく思います。だから待ち時間は大切だと思います。

K・Cさん（いぶき野小）

私は、待ち時間はあったほうが良いと思います。理由はくみさんの意見と同じように、欲しいものが手に入るまでの時間に、他の大切なことや新しいことを知ることができるかもしれないからです。

私が始めて自転車に乗ったとき、バランスがなかなかとれなくて全然こぐ事ができませんでした。でも何回も乗っているうちにこつをつかめたり、どうやったらうまく乗れるかということや学ぶことができました。そのおかげで、自転車のバランスをとれるようになり、うまく乗れるようになりました。とても嬉しかったです。だから時間をかけてゆっくり地道に練習すると、できるようなったときの喜びがとても増します。もし、最初からこつを教えてもらって、すぐに乗れるようになったら、嬉しくても、自分で地道に練習してやっとできたという喜びは味わえなかったと思います。

また最近では、パソコンなどで簡単に漢字を打つことができているため、漢字が書けなくなってしまう人が増えています。パソコンばかりではなく、日頃から漢字を使っていれば忘れて書けなくなることはなくなると思います。

何事も、最近の便利なものにばかり頼らずに、時間をかけて取り組んだほうが、自分のためになるし、喜びも増すと思います。

I・Fくん（いぶき野小）

ぼくは、待ち時間が必要だと思います。理由は、例えば遊園地の乗り物に乗るときに待つ時間などは乗り物に乗るまでのわくわくの時間です。もし待ち時間がなくて、スツとそのまま乗ってしまったら、その間のわくわくの時間がなくなってしまうです。塾や学校のテスト前などもそうです。テストを配られるまでの待ち時間などは、そのテストの予習や確認などの時間に必要だし、テストが終わってからは特に頭が疲れているのでポーツとする時間が必要だと思います。なぜなら、テストが終わってからは勉強となると頭がきつくなるからです。ほかに、映画を見るまでの待ち時間を活用し、ファーストフード

などを買ったり、他のところを見学したりという時間が増え、とてもいいと思います。

また、自分の夢にたどり着くまでの時間も必要だと思います。夢にたどり着くまでに色々な事を経験し、色々な人と出会い、喜びや悲しみもあり、やっと夢にたどりつくまでの一つ一つの時間が必要だと思います。待ち時間もなしに、喜びや楽しさを手に入れようとする考えは、正しくないと思います。

これからも色々な待ち時間を大切にしていきたいです。

Y・Kさん（岡上小）

私は、待ち時間があつた方が良いと思います。時間をかけて覚える方がしっかり身につくし、いつまでも忘れず多くのところで活かせると思うからです。また時間をかけた分だけ、夢や目的がかなったときにいろいろな知識がついていると思うからです。

例えば、ピアノの練習で何度も何度も繰り返ししていたら手が覚え、本番でも自信をもって弾くことができます。上手にできたときにはすごくうれしし、時間をかけて練習しなかった人より達成感が増すと思います。

しかし、時間をかけても上手にいかないときがあります。けれどそれを反省しどこが悪かったのかを考えて、また繰り返し練習すればものすごく上手になると思います。時間をかけずに練習した人はあまり「くやしい」と思わないと思います。

時間をかけたら時間をかけた分だけ身につく、結果がでると思います。待ち時間があつた方が良いか、ない方がいいかは将来、知識として活かせるかどうかの分かれ道だと思います。

だから私は待ち時間があり、努力した方が良いと思います。

N・Yさん（柿生小）

わたしは、待ち時間があつた方がよいと思います。理由はいくつかあります。

例えば、漢和辞典で漢字を調べる時に、画数で調べたり読み方で調べたりします。そして、そのページを開くと前後の漢字が見えます。すると、「この漢字はこんな読み方もあつたんだ」という発見もあります。また、調べたい漢字のページを開いた時に、その漢字の横に線を引いておけば、次に同じ漢字を調べた時に、「また引いてしまったんだな」と、まだ覚えていないことが確認できます。

次に、病院に行った時に待ち時間が長い場合、本を読んだり、患者さん達とお話したりする時があります。そこでは、楽しい本が見つかったりして、楽しい時間が過ぎたりします。また、他の患者さんと仲良くなってお菓子を交換したり、誕生日のプレゼントをもらったり、逆にわたしがあげたりしました。その他にも、良い先生のお話を聞いたりしました。

このように、たくさん楽しいことと出会うことができるので、待ち時間があつた方がわたしはいいと思います。

【中学部】

I・Kくん（中川西中）

僕はAの意見にもBの意見にも賛成することができません。

そもそも、「待ち時間」というのはどのようなものなのでしょうか。辞書で調べてみると「待ち受けている時間」「待つのに費やす時間」となっています。ですから、今回の文章で示されている「待ち時間」とは意味が異なっています。この場合、「目的を達成するために努力を要する時間」というのが適当ではないでしょうか。

もう一つ僕が反論したいことがあります。それは欲望の全てがすぐにかなりわけではないということです。たしかに、おいしい料理は安く食べられ、欲しい物はカードさえあれば簡単に手に入ります。欲求、願望も早くかなえることができるでしょう。しかし、本当にそれでいいのでしょうか。人間は文明を発達させ、暮らしは豊かになりました。でも願望をかなえるためのだけのことを考えていてはだめだと思います。そこで僕はBの意見には賛成できません。しかし、Aの意見にも賛成できません。なぜならば、人は待っているだけでは、何も手に入れることはできないからです。

以上のことを踏まえて、僕はAとBの意見に賛成できません。ロシアの小説家のドストエフスキーの言葉にも「幸福は幸福の中にあるのではなくてそれを手に入れる過程の中だけにある」という言葉があります。やはり、一番大切なのは、目的を達成することでも待ち時間でもなく、その待ち時間でどれだけの努力をできたかではないでしょうか。

H・Kくん（中川西中）

僕は文章Aに賛成だ。なぜなら、文章Aに書かれている「願いがかなった喜びを強く感じるためにも待ちの時間をもっと大切にすべき」という考えが同じだからだ。待ちに待ったからこそ願いがかなった時とでもうれいし、いつまでも記憶に残るといふ経験を僕もしたことがある。

僕の待ち望んだ物は流れ星を見る事だった。しかし、ずっと見たいと思っても、見るのはなかなか難しかった。なぜ見るのが難しいかというと、観測できる時間や天候に左右されてしまったり、約十分に一回しか流れないのでチャンス逃さないようにしなければならなかったりするからだ。観測する日でも流れ星について書かれた新聞記事を読んだり、天気予報で時間毎の天候を調べたりした。当日は星座早見板で位置を確認し、夜中に寒さを我慢しながら数時間空を見上げて待っていた。その間、流れ星の事を考え、どれくらいきれいなのだろうかと期待したり、本当に見えるのだろうかと不安になったりした。その待ちの時間が長かったからこそ見えた時の感動は忘れられない。

もしも、空を見上げた時すぐに流れ星を見ることが出来たら「あ、また流れた。」くらいの軽い気持ちでありがたみがなくなってしまうだろう。「流れ星に願い事をする」という言い伝えもなかっただろう。

このように待ちの時間の大切さを流れ星を見て改めて感じた。感動と満足を与えてくれる待ちの時間を大切にすべきという点で、僕は文章Aに賛成だ。

F・Aくん（十日市場中）

僕はAの文章に賛成だ。なぜなら旬というものは、過ぎてしまえば本来に必要ではなくなったり、欲求が低下するものだからだ。それに対して、旬に影響されず、長い間欲しいと思いつつ、手に入れた物は喜びも大きく本当に欲しいものだったということを感じられると思う。

また、何でもすぐに手に入るといことは、快感や達成感を早く味わうことができるが、何度も早く手に入ることです少ずつ、その喜びが減っていつてしまうのではないかと思う。

実際、高級レストランなどでは注文された料理を早く出しすぎではいけないらしく、注文してから料理が出てくるまでの待ち時間が大切にされているらしい。のんびりと話しをしたり、その店にいる時間を楽しむことを大切にしている。これは、ファーストフード店では決して味わうことができない喜びだ。

このように現実の社会でも待ち時間は必要とされていることがわかる。人は

もつと待つことを大切にすべきだ。

H・Aさん（十日市場中）

私は文章Aに賛成です。なぜなら、ここ数年で大きく変わった世の中、何でも叶ってしまうのは良いことなのかと、私は思っています。やりたいこと、欲しい物があるからこそ、がんばって目標に向かって勉強や仕事がかどるのだと思います。できる、願いが叶うようになるまでの時間は苦労がすごいと思います。でも、あきらめずに、最後まで達成できるように努力することは重要だと思います。そして、たとえ夢が叶わなくても、絶望的にならずにコツコツと何事もこなすことが大切だと思います。

我々、日本人はとても豊かな生活を、毎日、平和に過ごしています。欲求に負けずに今はがまんするなど、そのようなことが今の私達には必要だと思います。文章Bには物事には旬があると書いてありますが、もし、必要でなくなったら、その欲求は冷めてしまうのです。今、何でも叶ってしまいつつある世の中には、「継続は力なり」「ちりも積もれば山となる」というようなことが消え、達成感という一つの感情が失われつつあります。私はこのような事態はとてもしけないと思います。

私は、今、この世に必要なものはハイテクな技術や、豊かな生活だと思いますが、やってみなければ分からないことがたくさんあります。だから、私はあきらめないこと、頑張っただけ悔いのないようにすることが大切だと思います。

N・Aくん（田奈中）

ぼくは、文章Aの意見に賛成です。そもそも待ち時間は文章Bのように無駄といっても、自分の意志で決められるものではないのです。それならば、避けることができない待ち時間を大切にすべきではないでしょうか。

文章Bに「待っている間に本当に必要なものではなくなる」とあります

が、実際に必要なものではなかったといえます。だから、その欲求、願望が叶ったあとに後悔してしまうことになるのです。

自分にも、欲しくてすぐに買ったけど、あまり必要ではなかったことが何度もあります。あの時、待ち時間があれば、ゆっくり考えて必要かどうか判断できたと思います。本当に必要なものは、時間をかけても欲求が低くなることはないのです。待ち時間は決して無駄ではないのです。

待ち時間とは、文章Bのように実際に欲しい物を手に入れたり、楽しい体験をしたりするよりは、喜びは少ないかもしれないけど、もつと大切なものを手に入れることができると思います。

M・Mさん（田奈中）

私は、文章Bに賛成です。なぜなら、文章Aの「待ちの時間」はとて大切だと思いますが、文章Bの早く願いが叶うこともとても幸せなことだと思っからです。やらなければならない時にやらないと、あとで後悔するのは自分自身です。欲しい物を我慢するのもたいへん良いことですが、欲しい物を早く買おうとする努力も私は良いことだと思います。

文章Bでは、「旬」と言うキーワードが使用されています。私は特にこのキーワードに大変共感しました。

季節とは、どの国でもあるわけではありません。しかも私たちが住んでいる日本には「四季」があります。季節の移り変わりは、食べ物、スポーツ、ファッションなどに関わる、とても楽しいことだと思います。その季節ごとに、欲求、願望は当然変わります。それを、一つの楽しみとして考えてみたらどうでしょうか。

「時は金なり」は大切です。待つことも必要です。だから私は「時は金なり」も「待つ時間」もその場で使い分けたいと思います。

S・Sさん（金井中）

私は文章Aの意見に賛成です。

私にとって「待ちの時間」とは、次の三つのような時間です。本当にそれが欲しいのか、又は必要なのかと、自分に問いかける時間。手に入れるためにはどうしたら良いのかを考える時間。そして、手に入れるために努力する時間です。

何でも願った物が、願った瞬間に手に入る。それは私達にとって一番早く、一番楽です。しかし実際は、そのような事は、有り得ないと言ってよいでしょう。確かに昔と比べれば、何でもすぐに手に入ると言えるかもしれませんが、けれどそれは、物質的な事だけしか当てはまらないと思います。人が手に入れたと思うのは、物だけなのでしょうか。私はちがうと思います。物よりもっと大切なもの。そのようなものは、簡単に手に入るものではありません。なんでもすぐに手に入るのに慣れてしまった人は、簡単に手に入らないものができるたときどうするのでしょうか。手に入れるための努力を知らない、「待ちの時間」を知らない人は、どうするのでしょうか。

「待ちの時間」をどのように感じるかは、人それぞれです。けれど、「待ちの時間」が必要のない人は、だれひとりとしていません。ですから、自分の「待ちの時間」を、どのような時間にするのが、私達にとって、一番重要な事だと思います。